



## 第11号

新年あけましておめでとうございます。昨年中は当気仙沼市立病院地域医療連携室が大変お世話になりましたことを、心から感謝申し上げます。

さて、年末の選挙により政権が交代し、医療圏の再編問題などを含めて、医療情勢もまた様々な変化が見られることが予想されますが、新たな年を迎え、地域医療の発展のためにはのんびりしている猶予はありません。今まで関係医療機関の方々には様々なご努力をいただき、わずかながらもよい方向に向けて進み出しているものと考えておりますが、地域医療連携室一同、これからも精一杯頑張っていく所存でございますので、あらためて益々一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

気仙沼市立病院 地域医療連携室 室長 星 達也

## 平成24年 退院支援活動報告

|         |    | 平成23年  | 平成24年  |
|---------|----|--------|--------|
| 支援依頼患者数 |    | 548 名  | 1210 名 |
| 退院患者数   |    | 533 名  | 1170 名 |
| 内訳      | 自宅 | 269 名  | 676 名  |
|         | 転院 | 59 名   | 133 名  |
|         | 施設 | 130 名  | 147 名  |
|         | 死亡 | 75 名   | 214 名  |
| 平均支援日数  |    | 51.3 日 | 24.6 日 |
| 平均入院日数  |    | 69.7 日 | 33.9 日 |

左記のデータは平成23年と平成24年1年間の退院支援状況です。昨年のスクリーニングシート導入もあり、支援依頼患者数は1年で約2倍になりましたが、早期介入ができるようになったことで、平均支援日数と平均入院期間は約半分になりました。

今年も、「顔の見える関係」から「心が通う関係」を目指し、皆様のご協力をいただきながら、支援していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

# 音楽と歩んだ心のリハビリ

昨年12月1日（土）、『音楽と歩んだ心のリハビリ』と題し、がん患者の家族でジャズボーカリストの斎藤葉さんをお招きし、講演をしていただきました。参加人数は30名ほどでしたが、アットホームな雰囲気の中、がん患者家族の立場からのお話と共に、クリスマスソングを交えたジャズでとても癒されました。最後は『世界に一つだけの花』を全員で歌いました。会場から“とても良かった。癒されました”“初めて来た、これからも参加したい”などといった声も聞かれ、好評のうちに終了しました。

また、今回講演の前にがん相談室やがんサロン室についての紹介させていただき、市民の方にピーアールできたのではないかと思います。

次回のがん市民講座は、来月2月23日（土）ホテル観洋で開催します。テーマは『終末期の患者を支える』、講師に石巻赤十字病院緩和医療科部長の日下潔先生を予定しておりますので、多くの参加をお待ちしております。尚、詳しい内容については別紙同封しましたので、ご覧ください。



斎藤さんの歌声にみなさんうっとり...



会場には、医療用ウィッグやタオル帽子、がんに関するパンフレットなどを展示し、必要な方に差し上げました。



スタッフがタオル帽子のモデルになり、会場を回りました♪